

一般財団法人日本国際政治学会

2012年度後期（自2012年10月22日至2013年3月31日）事業報告書

I. 一般財団法人への移行

1. 所管行政庁の認可を受け、2012年10月22日付をもって「一般財団法人日本国際政治学会」へ移行を完了した。

2. 一般財団法人への移行に伴い、事務所を次の住所に移転し、体制を整えた。

〒186-8601 国立市中2-1 一橋大学第三研究館内
電話042-576-7110。

II. 年次研究大会・研究会の開催準備

1. 2013年度年次研究大会（10月25日～27日）を朱鷺メッセ（新潟県新潟市）で開催すべく、部会、分科会での報告公募を開始するなどの準備を進めた。

III. 学会誌の発行

1. 和文機関誌『国際政治』170号「戦後日本外交とナショナリズム」、171号「正義と国際社会」、172号「国際政治研究の先端10」を特集号として発行した。レフェリーによる厳正な審査を行うことによって、高い学術研究水準を確保すると同時に、若手研究者にもその研究成果を発表する機会を提供した。

2. 研究成果の公開を一段と進めるため、独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム（J-STAGE）を活用して、すでに公開された『国際政治』バックナンバーに続いて、今期は162号まで公開した。

3. 英文ジャーナル *International Relations of the Asia-Pacific* は、Vol.13, No.1を発行した。投稿論文の掲載可否を判断するにあたっては、国際的なレフェリー陣による厳正な審査を行い、国際的な学術交流の最前線として高い水準を維持した。

IV. ニュースレターの発行と学会ホームページの運営

1. 評議員会・理事会・各種委員会・分科会・事務局の活動の現況と今後の方針について情報を発信するとともに、会員からの声を反映する場を今期も維持し、会員相互の情報交換を促進するために、ニュースレター(和文)134号～135号を発行した。また、学会ホームページを通じた情報発信も継続・拡充した。

V. 国際学術交流の促進

1. International Studies Association (ISA) 、WISC(World International Studies Committee)など 諸学会の動向や学術情報を会員に提供して、会員の国際学術会議への参加を促し、諸地域や諸外国との学術交流のネットワーク構築に取り組んだ。
2. 海外における研究成果発表や研究交流を促すため、国際会議に参加する一定数の会員に対してその渡航費などを助成する体制を継続した。
3. 韓国国際関係学会 (Korean Association of International Studies) との交流については、2013 年度研究大会において開催される予定の日韓合同部会案の作成を中心に、連絡を密に行った。

VI. 学会奨励賞の授与

1. 若手会員の独創的な研究を奨励することを目的として 2008 年度に創設された学会奨励賞授与事業を継続し、選考にあたる学会奨励賞選考委員会を組織し、選考過程を開始した。

V. 総会・評議員会・理事会の開催

1. 上記の事業の決定や承認、実施のために日本国際政治学会は、評議員会を2012 年12月、2013年3月に開催した。また理事会を2012年11月、2013年3月に開催した。

以上。